

# 第11章 コメント

---

# この章の目的

---

◆コメントのしかたについて学ぶ

# 内容

---

## 内容とキーワード

- ◆退化コメント
- ◆コメントで命名をごまかす
- ◆コメントはいつ読まれるのか
- ◆ドキュメントコメント

# 退化コメント

---

# 退化コメント

情報が古くなってしまったコメントを退化コメントと呼ぶ。

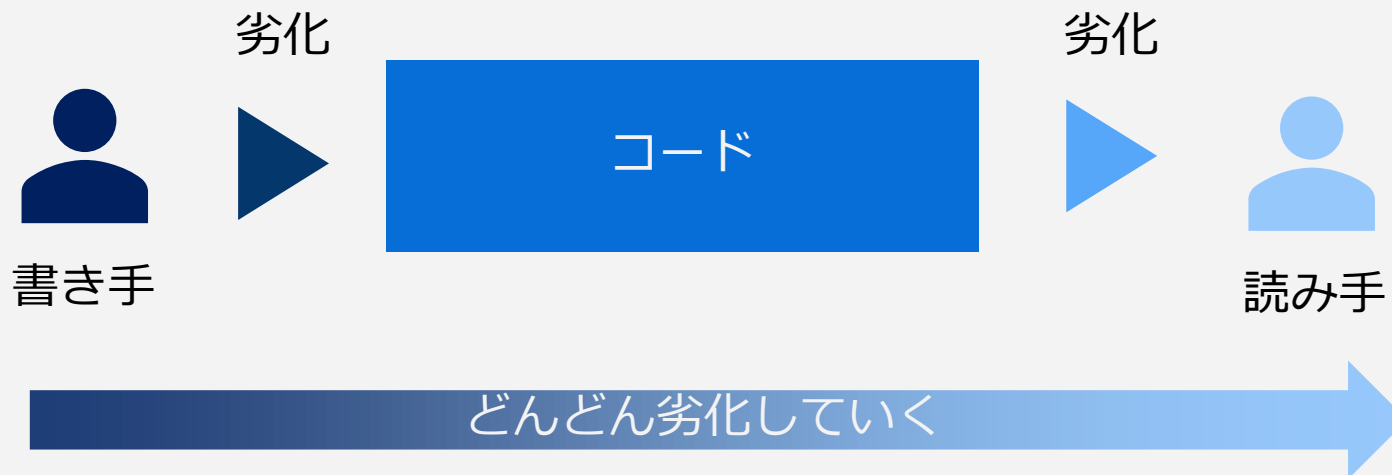
- ◆コメントはコードと比べてメンテナンスされにくい
  - 機能が追加された際にコメントを更新し忘れる



# 退化コメント

## ◆コメントは劣化コピーにすぎない

- 伝えたい内容は書き手の意思の劣化コピーにすぎない



可能な限り意思が伝わるコメントを心がける

# 退化コメント

## ◆ロジックの挙動をなぞるだけのコメントは避ける

- コードを更新するたびに更新する必要がある
- また、コードの理解にさほど貢献しない
- 伝言ゲームの性質を帯びてくる

読めば分かるけどなあ

コード

僕が説明します！

処理をなぞる  
コメント

# コメントで命名をごまかす

---



# コメントで命名をごまかす

- ◆わかりにくい命名をコメントでカバーすると...
  - コメントありきのコードになってしまう

こいつがいなくなったら  
俺理解されなくなるんだ  
よなあ...

僕が全部説明します！  
変数Aってのはこうで、  
変数Bってのはね～

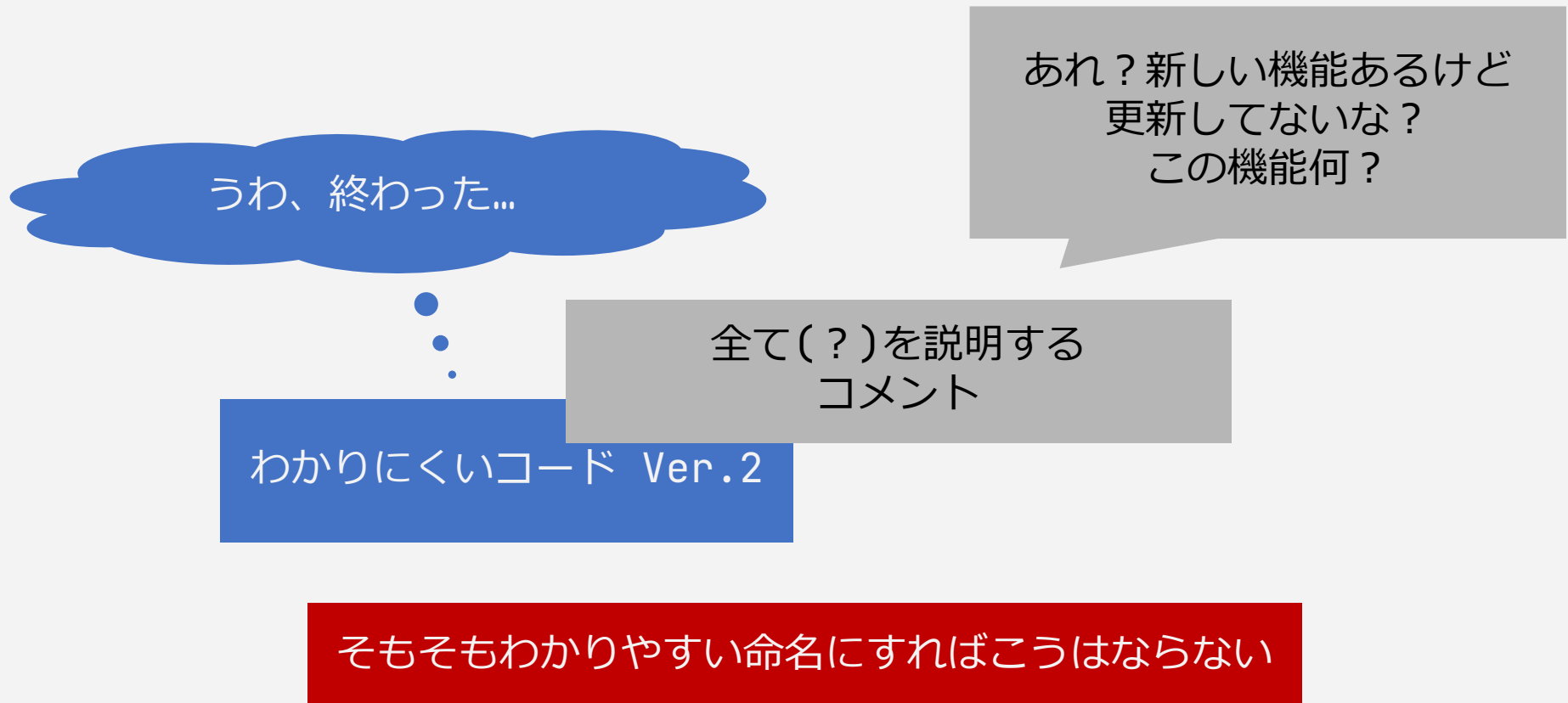
...

全てを説明する  
コメント

わかりにくいコード

# コメントで命名をごまかす

## ◆再説明をすると、コメントが退化しやすくなる



コメントはいつ読まれるのか

---

# コメントはいつ読まれるのか

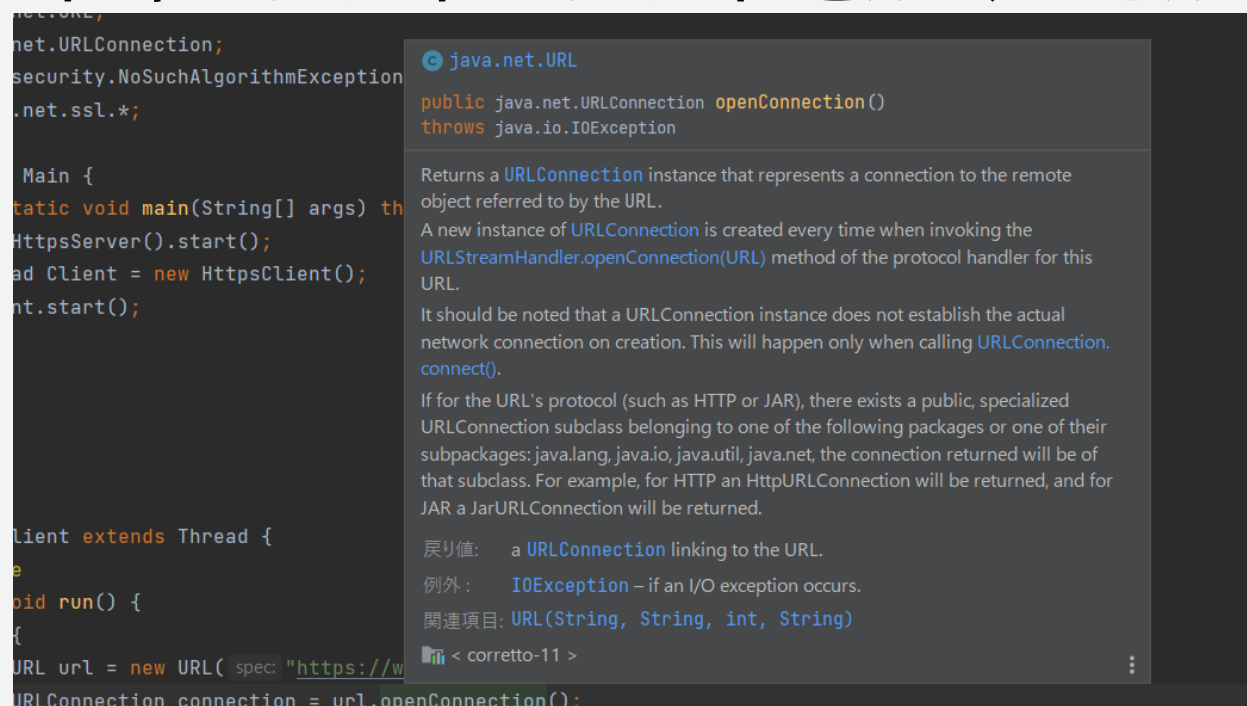
- ◆機会としては保守と仕様変更時が多い
- ◆以下の二つを意識してコメントを書くようにする
  - コード保守時は
    - このロジックはどういう意図で動いているのかを気にする
      - 例：〇〇の状態の時にTrueを返す
  - 仕様変更時は
    - 何に注意すれば安全に変更できるかをきにする
      - 例：〇〇の状態の仕様を変更する際はここのロジックを変更する

# ドキュメントコメント

---

# ドキュメントコメント

- ◆エディタ上で、メソッドなどにカーソルを合わせると、情報が出てくることはありませんか？
- ◆あれはドキュメントコメントで作成されています
- ◆皆さんも独自のドキュメントコメントをかくことができます



# 次の章に向けて

---

◆コメントの適切な書き方を学んだ

◆次章ではメソッドの設計について学ぶ